

# 2016（平成28）年度事業計画

法人の名称 特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか

自 2016（平成28）年4月1日 至 2017（平成29）年3月31日

## 1 事業活動方針

不登校・ひきこもりの子ども・若者の社会参加を実現するための事業を行う。  
学校に行っていない子どもたちに等しく学びと成長の機会を提供するフリースペースの必要性は未だに社会的課題であるが、残念ながら法的基盤整備は整わなかったため、自助努力による運営を続けなくてはならない。  
昨年度認定を受けた認定NPO法人であることにより、当法人の公益性は高くなったため、より一層のコンプライアンスが求められる。支援して頂く環境が整備されたため、寄附キャンペーンなどを展開する。

## 2 各事業計画

### (1) 学校外で育つ子ども達及び孤立する若者への居場所の提供

- ・内容 不登校の子ども及びひきこもりの若者の居場所作りを進める。安心して過ごせる空間と時間を保障し、次のステップへ進む力を蓄える。また、課外活動も行い、心身の充実を図る。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース他
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 不登校の児童・生徒・ひきこもりの若者20名 延べ300名
- ・支出見込額 183,716円

### (2) 不登校及びひきこもりの子ども・若者とその家族に対する支援活動

#### ア) 働きたい若者たちへの就労支援事業

- ・内容 若者が一般社会において必要な知識、経験を積むことを目的として座学と実践を行う事業。はるかぜ書店や山形物産市、商店街、古本回収等において研修を行う。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 ひきこもりの若者1名 延べ10名
- ・支出見込額 265,368円

#### イ) 不登校及びひきこもりの子どもを持つ親たちへの支援事業

- ・内容 不登校やひきこもりの子どもを持つ親が集まり、相互に助言・相談を行う自助的な交流を支援する事業。今年度は休止する。
- ・支出見込額 0円

### (3) 子ども・若者の学習の支援活動

#### ア) 子ども・若者の学習不安への支援活動

- ・内容 不登校、発達障害、生活保護受給世帯および学習不安を抱く子ども・若者に安心して学べる機会を提供する事業。学校の授業の補習、定期試験対策、高校受験、高卒認定試験対策、大学受験等のニーズに即した支援を行う。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人学習スペース
- ・従事者員数 12名（島田、石井、伊藤、他非常勤職員8名、ボランティア1名）
- ・対象者 学習に不安を抱いている児童・生徒・若者40名 延べ1000名
- ・支出見込額 6,476,695円

#### イ) 不登校・進路相談会への参加

- ・内容 神奈川県教育委員会や横須賀市教育委員会が主催する不登校の進路相談会等に参加する。学校・フリースクール等連携協議会、企画委員会に企画する。
- ・日時 通年
- ・場所 横須賀市内、神奈川県内各所、神奈川県立青少年センター
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及びNPO法人・一般市民550名
- ・支出見込額 50,000円

(4) 子ども・若者とその家族・教育関係者・学生・市民の交流の機会及び場の提供

- ・内容 当法人の活動の一端を担うボランティア・プロボノワーカーを受け入れる。神奈川県立保健福祉大学、横浜市立大学医学部看護学科等と連携し、ボランティアの受け入れ、交流を行う。県立修悠館高等学校より単位認定プログラム受講生徒の受け入れを行う。近隣の小中高等学校より、キャリア教育の一環として職業体験や仕事調べの受け入れを行う。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース、はるかぜ書店、商店街等
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民70名 延べ1,200名
- ・支出見込額 50,000円

(5) 教育や不登校・ひきこもり等に関する相談及び情報提供

- ・内容 当法人の活動を生かした実践的な経験に基づく相談を行うとともに、相談員を配置し、専門的な視点からの相談も実施する。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人相談スペース、神奈川県内
- ・従事者員数 3名（島田、石井、吉本）
- ・対象者 正会員及び教育・子ども等について悩みをもつ人々延べ1,000名
- ・支出見込額 353,824円

(6) 他の市民活動団体との交流活動

- ・内容 神奈川県及び横須賀市等のNPO及び任意団体との交流を行う。上町商店街の活性化を図るため、商店街事業の一端を担うとともに、上町イベント実行委員会に参画する。また、横須賀商店街連合会青年部においては横須賀市内の商店街関係者と交流を図り、横須賀市域の商店街の活性化の方策を練る。わかもの互立ネットワークにおいては、運営に関する助言と困難を抱える若者に対するサポートを検討する。かながわの子ども・若者支援あり方検討会議においては子ども・若者支援の政策提言を行う。横須賀市立市民活動サポートセンター運営懇話会においては、運営に関する助言を行う。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人内、横須賀市内及び神奈川県内
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 NPO法人及び任意団体と一般市民30,000名
- ・支出見込額 300,000円

(7) 教育・不登校・ひきこもり等についてのシンポジウム・講演会の企画運営

- ・内容 不登校やひきこもり等子ども・若者に関する社会的課題について、講演等を行う事業。今年度2回実施予定。
- ・日時 8月、12月
- ・場所 当法人内
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民20名
- ・支出見込額 100,000円

(8) 就労を目指す若者に対する支援活動

- ・内容 ひきこもりの若者たちの就労支援研修の場として、はるかぜ書店及び地域お助けサービスを運営する。上町商店街および上町イベント実行委員会より、以下の事業の運営を受託する。桜まつり（4月）、灯ろうまつり（7月）、収穫祭（10月）、ハロウィンフェスティバル（10月）など。横須賀市市民生活課企画提案型市民協働モデル事業として生活福祉課と協働し自立支援のための就労体験受け入れ事業所の開拓事業を行う。
- ・日時 通年
- ・場所 はるかぜ書店、上町商盛會商店街、横須賀市内
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民1,500名
- ・支出見込額 3,347,716円

(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・内容 不登校・ひきこもり等に関する講演会に講師を派遣し、課題に対する理解を促進する。
- ・日時 通年
- ・場所 神奈川県内
- ・従事者員数 2名（島田、石井）
- ・対象者 正会員及び一般市民200名
- ・支出見込額 129,282円